

尾ノ上の風 II

第22号



学ぶ きたえる 助け合う

文責:校長 村上 正祐

「いかのおすし」を守ろう 不審者避難訓練を行いました

テレビや新聞、スマホのニュースでも犯罪の事件を聞かない日はありません。犯罪に巻き込まれないように、未然に回避する行動ができることを目的に11月10日に不審者避難訓練を実施しました。

実際に本校の職員が不審者役をつとめました。実際に校舎内に侵入するところから「さすまた」で取り押さえられるところまでを行い、子どもたちは、担任の指示に従って安全な行動をとるところまでを訓練しました。その後、各教室でZOOMを使って犯罪から身を守ることについてのDVDを視聴し、東署の中村巡査部長から身を守る安全な行動についてお話をしていただきました。今年度も東署管内だけでわいせつ事案が155件、尾ノ上小校区で4件通報があるという話を聞きました。

これからますます日没が早くなり、暗くなるので犯罪だけでなく、交通事故などにも巻き込まれないようにしてほしいと思います。



不審者から身を守るお話をして
くださった東署の中村巡査部長

先生たちも学び合ってます

私たち教職員は、教育公務員特例法という法令で研修に努めなければならないという規定があります。勤務時間を使って研修する権利と義務があるわけです。少々かたい話になりましたが、私も教育実習の指導教官や先輩教師から「学び続ける先生が子どもの前に立つ資格がある」と言われてきました。

学習指導要領が大きく変わり、教育現場にICTがすごい勢いで入ってきており、どのように授業を進めていけばいいのか、尾ノ上小の先生方も学び合っています。授業を1時間公開して、他の先生から参観してもらい、放課後に少人数で集まって授業のアイデア、子どもたちの見取りはどうだったのかを学び合っています。先日も2組系の先生8人が授業を公開して放課後に学び合いました。事務の先生や学校主事の先生も授業を見て放課後に参加される点は尾ノ上小のすばらしさだと思います。



事務や主事の先生も入って、六つのグループに分かれて意見を交換しています